

社会福祉法人 九十九里ホーム



ヒートポンプ給湯



水蓄熱

贈呈理由

空調・給湯にヒートポンプ・蓄熱システムを採用することで、
昼間ピーク電力の削減とBCP対応を実現



九十九里ホーム 飯倉駅前特別養護老人ホーム シオン

医療機関を中核に 地域に貢献する社会福祉法人

「神を信じ人を愛する心」を運営の基本とする社会福祉法人 九十九里ホームは、時代の要請に応じて幾度かの転換をし、結核療養所から一般病院へ、さらには福祉事業への取り組みを開始し、病院を中核とした医療、保健、福祉の総合施設の完成を目標に業務を推進している。

現在は九十九里ホーム病院の他、特別養護老人ホームや老人保健施設、デイサービスセンターなどの施設を近隣の市にも展開。各施設が連携しながら地域に開かれた社会福祉法人として、お客さまに寄り添ったサービスを提供している。

2019年4月、千葉県匝瑛市の駅前の好立地に開設した「九十九里ホーム 飯倉駅前特別養護老人ホーム シオン」(120床)は、家庭的な明るい雰



空冷ヒートポンプチラー

囲気の中で地域と家庭との結び付きのあるサービスを提供する、新たな入所サービス施設である。

災害時にも地域社会に 貢献できるシステムを構築

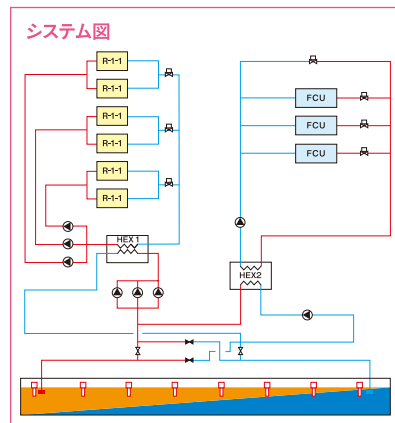
施設の新設にあたり、空調と給湯システムの選定においては、同法人が運営する「特別養護老人ホーム 第二松丘園」で既に採用している水蓄熱式空調システムなどの運用実績が再評価されたことから、当特別養護老人ホーム シオンでも水蓄熱式空調システム、業務用エコキュートを採用した。

水蓄熱式空調システムの採用により、昼間のピーク電力を夜間に移行できる他、非常災害時の生活用水利用といった事業継続性、近隣での火災などに防火水槽としても利用できるなど、地域社会に貢献できるシステムである点も評価されている。

エネルギー使用割合の大きい空調、



業務用エコキュート



給湯システムともに運転管理が容易でランニングコストや安全性、メンテナンス性に優れたヒートポンプ主体の電化システムとなっている。

当特別養護老人ホームは開設間もないため、エネルギー使用実績が出るのはこれからだが、水蓄熱式空調システムは各階居室の空調負荷を全て蓄熱でまかなえることから、空調負荷ピークが想定される夏季のデマンド抑制が期待される。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	ガス式ヒートポンプ 20馬力×16台 一次エネルギー消費量: 3,463GJ
採用システム	空冷ヒートポンプチラー (水蓄熱) 一次エネルギー消費量: 3,352GJ



[諸元] 同一空調負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(昼間) 9.97MJ/kWh、(夜間) 9.28MJ/kWh
※LPG50.8MJ/kg
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

九十九里ホーム 飯倉駅前特別養護老人ホーム シオン

所在地: 千葉県匝瑛市飯倉95-1
建築設計: 機アーキテクトファイブ
建築施工: 阿部建設(株)
設備施工: 機ヤマト
延床面積: 5,824.66㎡
竣工: 2019年4月新設

■設備概要

空冷ヒートポンプチラー 159kW×6台
[日立グローバルライフソリューションズ]
蓄熱槽 484㎡(冷温水槽)
業務用エコキュート 40kW×4台 [三菱電機]
貯湯槽 30㎡